



「永田町に21世紀の教室がやってきた!!」 ～議員会館でのモデル授業のご案内～



文科省の「未来を拓く学び・学校創造戦略」や総務省の「フューチャースクール推進事業」が進められる中、日本の子どもたちとインターナショナルスクールの生徒達が協働する、ICTを使った21世紀型教育のモデル授業を議員会館にて開催いたします。

当日は、21世紀型教育の実践に取り組んでおられるインターナショナルスクールの先生にファシリテーターをお願いしております。子どもたちは絶滅危惧種の保護に関して、楽しく授業を進めます。また、PISA(OECD生徒の学習到達度調査)で世界トップの成績を誇るフィンランドの先生にもご参加いただけます。

百聞は一見にしかず！
是非この機会に21世紀型教育のモデル授業をご参観下さい。

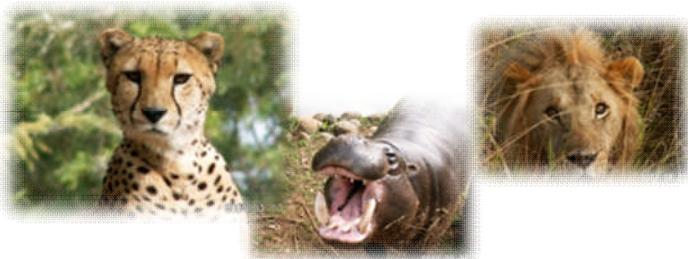
<<開催概要>>

日時： 2010年11月4日(木) 16:45～18:00 (質疑応答は18:30まで)


場所： 衆議院第二議員会館 地下1階 第1会議室

参加方法： 国会議員の先生方ならびに秘書、行政、マスコミの方々はご自由にご覧ください。
なお、議員会館入館にあたりましてはパスが必要です。
お持ちでない方は、事前に下記事務局にメールでの登録をお願いいたします。
(登録に際しては、お名前、所属、メールアドレス、電話番号を記載ください。)
事務局メールアドレス： info@supersciencekids.com

授業概要： ファシリテーター 堀井清毅先生(西町インターナショナルスクール教諭)
日本の小中学生 6名程度、西町インターナショナルスクールの小学生 6名
ゲスト Eija Pajarinen先生(フィンランドの元小学校教諭、現在日本で教育支援活動中)



今回の授業のテーマ：
“絶滅危惧種について学習し、
自分たちにできることを考えよう。”

主催：  特定非営利活動法人スーパーサイエンスキッズ

後援： ACCJ

協力：  西町インターナショナルスクール、  WWFジャパン、  動物チャンネル/アニマルプラネット



「パソコンの父」アラン・ケイ博士のデッサン
博士は当法人の最高名誉顧問です。

「21世紀型教育」とは

21世紀は、グローバル化が急速に進み、新しい知識・情報・技術が、政治・経済・文化をはじめ、社会のあらゆる領域での活動の基盤として重要性を増す、知識基盤社会の時代とされています※1。この世紀を生き、未来を切り開いていかなければならない子どもたちに必要な能力を醸成する「21世紀型教育」とは、どのような教育でしょうか？

産業革命以降の20世紀においては、工業生産に適した規格化された人間を大量に作り出すことが求められました。教育もその要請に応えるべく、知識取得と訓練を重視してきました。しかし、産業構造の変化と共に21世紀では、イノベーションを起こし、変化をリードする創造力豊かな人材があらゆる分野で求められています。

課題を自ら発見し、自からの意見を持ち、他者とコミュニケーションすることで、さらに考えを深化させ、課題解決に挑戦する。このような人材を育成するためには、今までの教育を大きく変革する必要があることは明白です。

一方で、教育に絶対の正解はなく、そこに至る手法や手段も決して一つではありません。世界各国において、現在もその模索が続いています。

今回は21世紀型教育の先進校である西町インターナショナルスクールの堀井先生にご協力いただき、モデル授業を行います。又、PISAの学力調査においてここ数年常にトップにあるフィンランドからも教員をお招きしております。

「21世紀型教育」の一つの事例として、皆さまにご参観いただき、日本の教育政策立案の一助としていただければ幸いです。



アラン・ケイ博士と子ども達

特定非営利活動法人スーパーサイエンスキッズ
理事長 瓜谷輝之

※1 出展：文部科学省発行「教育の情報化ビジョン(骨子)」



特定非営利活動法人スーパーサイエンスキッズ

当法人は、未来を担う子ども達の創造性や国際性を育むことを目的に教育支援活動を行っています。行政、教育委員会、学校、大学、研究機関、企業、NPOや第一線で活躍する科学者やクリエイターと協力し、学校支援、各種ワークショップやコンテストなどを実施しています。また、21世紀型の教育に関して、実践を通して、社会に積極的に提案して行きたいと考えております。

Webサイト

メールアドレス